

第35回  
東京国際映画祭  
日本映画クラシックス  
正式出品作品

# DOOR

デジタルリマスター版

高橋恵子 堤 大二郎 下元史朗 米津拓人

監督・高橋伴明

製作:高橋文雄 企画:渡辺 敦 プロデューサー:久里耕介 脚本:及川 中、高橋伴明  
撮影:佐々木原保志(J.S.C.) 照明:岩崎 豊 録音:福田 伸 美術:細石照美 編集:菊池純一 効果:福島幸雄 音楽:津野剛司  
特殊メイク:原口智生 特殊造形:松井裕一 助監督:平山秀幸 制作担当:小橋孝裕、鎌田賢一  
製作:エイジェント21、ディレクターズ・カンパニー

2022年デジタルリマスター(1988年スーパー16ミリ方式) / 日本 / カラー / ビスタ / DCP / 95分  
特別協力: qooop 提供:シネマ企画 配給:アウトサイド  
© エイジェント21 / ディレクターズ・カンパニー

ドア一枚の向う側、  
惨劇あり!

埋もれていた貴重なネガ発見からJホラー映画の原点が35年ぶりに蘇る。  
実力派・高橋伴明監督が描く主婦VSストーカーのスーパーバイオレンス!

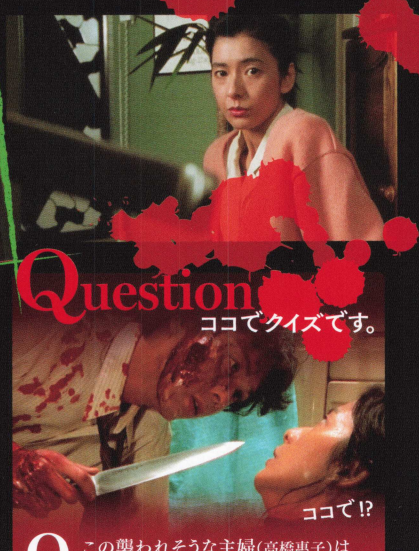
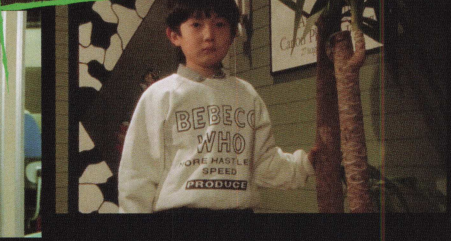
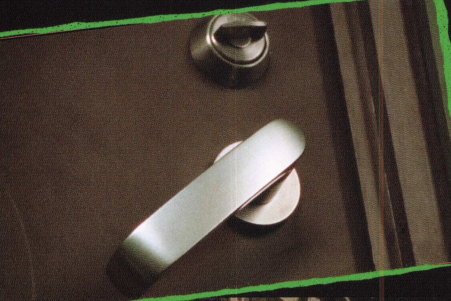


ドア一枚の向う側、  
惨劇あり！

実力派・高橋伴明監督が描く  
主婦 VS ストーカーの  
スーパーバイオレンス！

最新作『夜明けまでバス停で』(22)の大ヒットで  
存在感を示した高橋伴明監督。  
行方不明だったネガの発見から、隠れた傑作『DOOR』(88)が  
35年ぶりにデジタルリマスターで蘇る！  
第35回東京国際映画祭・日本映画クラシックスに正式出品。  
ディレクターズ・カンパニーと共に新たな注目を集めている。  
ごく平凡な主婦がある出来事をきっかけに  
ストーカーとなった男から執拗に狙われる心理サスペンス。  
じわじわ迫り来る描写はピンク映画を60本近く撮った  
高橋監督の演出力から来るものだ。  
大映スタジオに建てた室内セットでの俯瞰から映す移動撮影は、  
映画のルールをばらすことで、今もって新しい。

「扉」映画の決定版。  
互いが被害者であり加害者でもある人間ドラマ…ラスト20分の震撼！



Question  
ココでクイズです。

ココで!?  
Q この襲われそうな主婦(高橋恵子)は  
劇中で衣装を何回変えるでしょうか?  
ご回答は → → → @DOOR2023  
『DOOR デジタルリマスター版』公式Twitterまで

DOOR  
デジタルリマスター版

監督:高橋伴明 脚本:及川中、高橋伴明  
出演:高橋恵子、堤大二郎、下元史朗、米津拓人  
2022年デジタルリマスター(1988年スーパー16mm方式)/日本/カラー/ビスタ/DCP/95分  
特別協力:qoop 提供:シネマ企画 配給:アウトサイド  
© エイジエンツ21 / ディレクターズ・カンパニー ※ R15+(15歳以下はご覧になれません)

2023年2月25日[土]より独占ロードショー!

全国共通特別鑑賞券 ¥1,300(税込)販売中[当日一般:¥1,800/学生:¥1,500の処]  
\*劇場窓口にてお買い上げの方にもれなく特製ポストカードをプレゼント  
●舞台挨拶・トークイベント情報及び、上映時間は劇場HP、公式Twitterをご確認ください

新宿駅南口階段下 甲州街道沿 道コムショップ左入ル  
新宿 K's cinema  
03(3352)2471 www.ks-cinema.com  
◆各回入替・全席指定席◆

